

第2章 沖縄県景観評価システム運用に係る支援

2.1 全体スケジュール

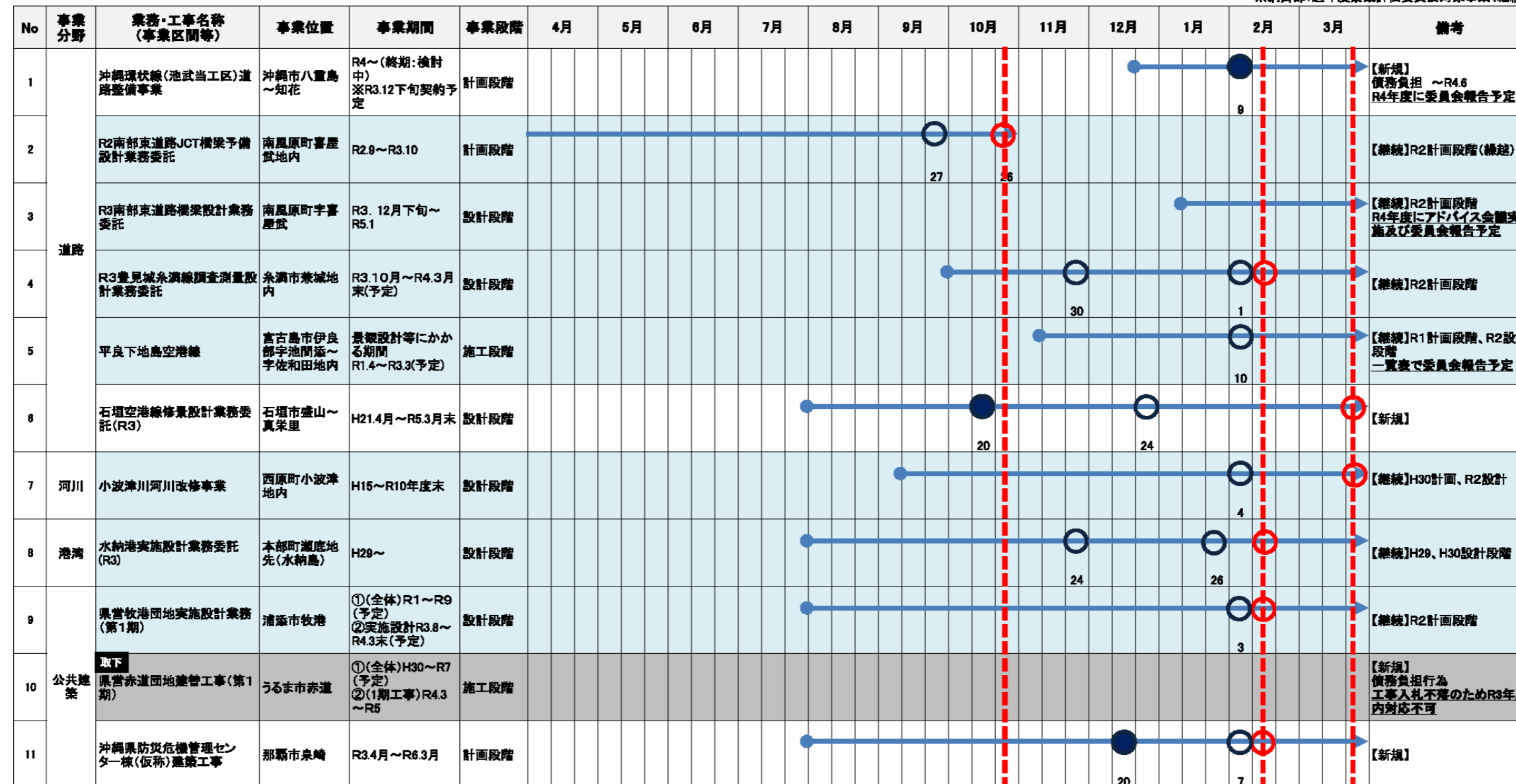
本年度は、下表のように、道路4事業、河川1事業、港湾1事業、公共建築2事業の支援を行った。全体スケジュールと担当有識者を以下に示す。

	事業名	事業位置	担当アドバイザー (敬称略)	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道路事業	①: 沖縄環状線(池武当工区)道路整備事業	沖縄市	友寄増山					●	R4年度報告
	②: R3 豊見城糸満線調査測量設計業務委託	糸満市	友寄増山		○		○	○	
	③: 平良下地島空港線修景設計業務委託	宮古島市	友寄増山					○	一覧表で報告
	④: 石垣空港線修景設計業務委託(R3)	石垣市	友寄増山	●		○			○
河川	①: 小波津川河川改修事業	西原町	神谷島谷皆川				○		○
港湾	①: 水納港実施設計業務委託(R3)	本部町	齋藤入部		○		○	○	
公共建築	①: 県営牧港団地実施設計業務(第1期)	浦添市	伊良波中島				○	○	
	②: 沖縄県防災危機管理センター棟(仮称)建築工事	那覇市	伊良波西村			●		○	

●: 現地確認 ○: 景観アドバイス会議 ○: 景観評価委員会

令和3年度 景観検討スケジュール

※網掛部：過年度景観評価委員会対象事業(継続)



第1回委員会 (10/26)

第2回委員会 (2/15) 第3回委員会 (3/29)

- (1) 景観アドバース会議は年度内に各事業2回程度開催予定
- (2) 景観評価委員会は年度内に3回開催予定
- ※ 各会議及び委員会の開催時期は、事務局の想定内容を記載。各事業の工程及び景観検討状況を踏まえ、事務局と各事業課・所で開催のうえ決定する予定。



令和3年度 会議・委員会等詳細

日時	9/27 15:00-17:00	10/20 9:30-12:00	10/26 14:00-15:30	11/24 10:00-12:00	11/30 10:00-12:00	12/20 14:00-16:00	12/24 10:00-12:00	1/26 10:00-12:00	2/1 14:00-16:00	2/3 10:00-12:00	2/4 13:00-15:00	2/7 14:00-16:00	2/9 14:00-16:30	2/10 10:00-12:00	2/15 10:00-12:00	3/29 14:00-16:00
形式 (会場)	WEB会議 (南部7F)	現地&会議 (八重山3F)	WEB会議 (南部5F)	WEB会議 (南部7F)	WEB会議 (本庁11F第 4)	WEB会議 (県庁11F第 2)	WEB会議 (南部7F)	WEB会議 (本庁11F第 4)	WEB会議 (本庁11F第 4)	WEB会議 (県庁11F第 4)	WEB会議 (県庁11F第 4)	WEB会議 (県庁11F第 4)	現地&会議 (中部4F第 3,4)	WEB会議 (県庁11F第 4)	WEB会議 (南部7F)	WEB会議 (県庁11F第 4)
No	2	6	—	8	4	11	6	8	4	9	7	11	1	5	—	—
事業分野	道路	道路	—	港湾	道路	公共建築	道路	港湾	道路	公共建築	河川	公共建築	道路	道路	—	—
名称	南部東道路 JGT橋梁	石垣空港線	第1回 委員会	水納港	豊見城系満線	沖縄県防災危 機管理セン ター棟(仮 称)	石垣空港線	水納港	豊見城系満線	牧港団地	小波津川	沖縄県防災危 機管理セン ター棟(仮 称)	沖縄環状線 (池武当工 区)	平良下地島 空港線	第2回 委員会	第3回 委員会
会議回数	①	①		①	①	①	②	②	②	①	①	②	①	①		
学識者委員(敬称略)																
池田 幸之 (都市計画)			○												○	○
左巻 幸 (道路)	○	○	○		○		○		○				○	○	○	○
波多野 想 (観光景観)			○												○	○
事業景観アドバイザー(敬称略)																
増山 晃太 (道路)	○	○			○		○		○				○	○		
伊良波 朝義 (建築)						○				○		○				
中島 親寛 (建築)										○						
西村 浩 (建築)						○						○				
神谷 大介 (河川)											○					
島谷 幸宏 (河川)											○					
皆川 朋子 (河川)											○					
入部 綱清 (港湾・海岸)				○				○								
齋藤 潮 (港湾・海岸)				○				○								

2.2 対象事業への支援

2.2.1 道路事業に係る支援

以下の4事業について、担当事務所、事業所管課、市町村、有識者及び事務局が参加するアドバイス会議の開催を支援し、景観検討のポイントや事業の進め方についてとりまとめを行った。

アドバイス会議の開催概要は下表の通りである。

(1) 沖縄環状線（池武当工区）道路整備事業

アドバイス会議 開催日時と議事録	会議の様子
令和4年2月9日 参考資料03	

【主な意見】

- ・ コンセプトを作るときに池武当インターチェンジも含めて検討していく必要がある。
- ・ 残地の活用方法に検討の余地がある。
- ・ 住居があるエリアなので、照明の照らし方を工夫する必要がある。
- ・ 高架橋自体は存在感があるが、すっきりした好印象の高架橋はある。大きいがすっきりしている物を目指すべき。

(2) R3 豊見城糸満線調査測量設計業務委託

<p>アドバイス会議 開催日時と議事録</p>	<p>会議の様子</p>
<p>第1回景観アドバイ ス会議 令和3年11月30日 参考資料04</p>	
<p>第2回景観アドバイ ス会議 令和4年2月1日 参考資料05</p>	

【主な意見】

①第1回景観アドバイス会議

- ・ バルコニーは橋梁上に敢えて作らず、橋詰広場に設置する方がよい。
- ・ 水道管について、もし添架する場合は、橋梁側面の下など、表から見えないよう細かく検討してほしい。
- ・ 樹種については、既存木のコバティシは生育が良好でなじんでいることから良いと考えられるが、落葉樹であるため、維持管理性や冬場の見栄え等を踏まえ、市木のガジュマルにした方が良いのかを糸満市と相談して決定してほしい
- ・ ガジュマルをやむを得ず撤去する場合も、糸満市の景観審議会で理解いただく形をとる必要がある。

①第2回景観アドバイス会議

- ・ 川尻橋より上流の護岸程度に緑が管理できるのであれば、上部を張芝にするなどの検討も考えられる。
- ・ 緑のラインについて、マングローブの緑がなくなると、緑の軸のようなものが途切れるのはどうか、という話はしていただくべき
- ・ 柵の高さについては、段差ができない工夫ができるかどうかも踏まえて、改めて確認が必要。

(3) 平良下地島空港線修景設計業務委託

<p>アドバイス会議 開催日時と議事録</p>	<p>会議の様子</p>
<p>令和4年2月10日 参考資料06</p>	

【主な意見】

- ・ (歩車道境界ブロックの仕様について) 基本的には全体を一貫させたほうが良い。ただ既に施工が終わっている区間もあり、今年度の施工区間から急に切り替えるのも違和感がある。今施工を進めているのであれば、交差点部などのきりの良いところで切り替えるのか、もしくは区間ごとに分けるのかを、もう一度チェックする必要がある。
- ・ 将来的に整備済み区間の改修も見据えて、歩車道境界ブロックをどうしていくのかを検討いただきたい
- ・ 現場の状況を踏まえると必ずしも50センチ差があるところにすべて転落柵を付ける必要はないかもしれない。現場で安全性を見ながら検討の余地はあるかと思う。
- ・ 基本的には事務所内でチェック、監督していただくのが良いと思う。頻繁に行う必要はないが、施工区間の進捗や、どういう対処をしたのかは定期的に相談やチェックする場を設けた方が良いと考える。

(4) 石垣空港線修景設計業務委託(R3)

アドバイス会議 開催日時と議事録	会議の様子
第1回景観アドバイ ス会議 令和3年10月20日 参考資料07	
第2回景観アドバイ ス会議 令和3年12月24日 参考資料08	

【主な意見】

①第1回景観アドバイス会議

- ・ 歩道部をグニャグニャさせた作りはジョガー向けではない。利用想定と設計にズレが生じているため、前提条件を再度整理する必要がある。
- ・ ジョガーの休憩ポイントとして木陰があればと思うが、現時点では木とベンチとの位置関係がチグハグな印象を受ける。
- ・ 赤瓦門については検討の余地がある。誰をターゲットとしているのかが不明瞭では。

②第2回景観アドバイス会議

- ・ 石垣空港線周辺は農地景観と稜線が景観資源になっており、当該箇所の見通しを良くすることが重要。将来にわたって背後地が確保できるのか、石垣市と調整しながら検討を行って頂きたい。
- ・ ゲート裏手で歩行者が休憩することを考えると、足元の景観にも配慮する必要がある。
- ・ 石垣については全体を高さ1.5mにすると壁のように感じるので、途中から1.0mにするとドライバー目線で奥の風景が見えてよい

【景観検討資料に対するアドバイス】

- ・ チェックリストBについて、該当項目の確認欄に「◎、○、×」を記載し、「×」の場合は理由や補足説明を確認体制・確認時期欄に追記した方がよい。
(第1回景観アドバイス会議説明資料)

2.2.2 河川事業に係る支援

以下の1事業について、担当事務所、事業所管課、市町村、有識者及び事務局が参加するアドバイス会議の開催を支援し、景観検討のポイントや事業の進め方についてとりまとめを行った。

アドバイス会議の開催概要は下表の通りである。

(1) 小波津川河川改修事業

アドバイス会議 開催日時と議事録	会議の様子
令和4年2月4日 参考資料 09	

【主な意見】

- ・ マルシェからのアプローチが傾斜のある護岸になっていて、恐らく対岸には行かないと思う。憩いの場のようなものにするということだが、その辺りの設計や合流点処理の仕方についても、検討の余地がある
- ・ 役場前の区間まで含めて動線を検討した方が良い。
- ・ 暑い状況下でも歩く空間として利用してもらいたいのであれば、少し樹木のようなもので日陰を作ることも必要になってくる。

2.2.3 港湾事業に係る支援

以下の1事業について、担当事務所、事業所管課、市町村、有識者及び事務局が参加するアドバイス会議の開催を支援し、景観検討のポイントや事業の進め方についてとりまとめを行った。

アドバイス会議の開催概要は下表の通りである。

(1) 水納港実施設計業務委託(R3)

アドバイス会議 開催日時と議事録	会議の様子
第1回景観アドバイ ス会議 令和3年11月24日 参考資料10	
第2回景観アドバイ ス会議 令和4年1月26日 参考資料11	

【主な意見】

①第1回景観アドバイス会議

- ・ 北側の防波堤を取り除いた場合、遊泳客への影響はないだろうか。
- ・ 前回の検討では海岸構造物を撤去する方向だと聞いていたが、今回の検討で段階的に撤去するということは妥当だと考える
- ・ 防波堤起点部と砂浜との段差について改善できないか。琉球石灰岩などを捨て石風に積んで段差を修景できないか。

②第2回景観アドバイス会議

- ・ 全体を考慮した景観検討を行うべき。利便性だけでなく、水納港の魅力や観光への影響についても考慮すべきではないか。
- ・ 費用便益の計算について、防波堤建設で静穏度が改善されることによる欠航回避便益が挙げられる。必要に応じその他項目として、港湾改善・利便性向上に対する支払い可能額をアンケート調査にて積み上げることも考えられる。

2.2.4 公共建築事業に係る支援

以下の2事業について、担当課、関係課、市町村、有識者及び事務局が参加するアドバイスメETINGの開催を支援し、景観検討のポイントや事業の進め方についてとりまとめを行った。

アドバイスメETINGの開催概要は下表の通りである。

(1) 県営牧港団地実施設計業務(第1期)

アドバイスメETING 開催日時と議事録	会議の様子
令和4年2月3日 参考資料 12	

【主な意見】

- ・ 駐車場の拡張で集会室と広場の関係性が非常に弱くなっているように見える。駐車場が拡張されて集会室の前まで来るのであれば、屋外階段を駐車場側に移動して、妻面と広場側を繋ぐような仕組み作りをやるべき。
- ・ ポンプ室について、周回道路とかなり接近しているように見える。景観的に植栽帯も含めてどう見えるかは重要。
- ・ 花ブロックのデザインについて、青や赤のアクセント色を使っているが、将来的に白化等によって景観を汚す危険性があると予見できる。あくまでも花ブロックをデザインするということは、色を付けるという捉え方ではなくて、花ブロックの組み合わせで表現するという方向に変えた方が良い。

(2) 沖縄県防災危機管理センター棟(仮称)建築工事

アドバイス会議 開催日時と議事録	会議の様子
<p>第1回景観アドバイス会議 令和4年12月20日 参考資料13</p>	
<p>第2回景観アドバイス会議 令和4年2月7日 参考資料14</p>	

【主な意見】

①第1回景観アドバイス会議

- ・ 計画範囲において工事に影響する既存樹木は移植するという認識でよいか。
- ・ 建物の色はどのようなイメージなのか。当時の立法院の色彩や建築の特徴は意識したほうが良いのかもしれない。
- ・ 俯瞰して全体を見た際に、他の庁舎とのデザイン整合性は確認した方が良い。
- ・ 本庁舎から防災危機管理センターへのアクセスルートの舗装デザインについても検討する必要がある。
- ・ 庁舎周辺の緑や記念碑を活かすために、照明の検討を行う必要がある。

②第2回景観アドバイス会議

- ・ プレスセンターの開口部は管理上の問題がなければ、出入りが自由にできる空間にできるとよい。
- ・ 歩道の途中から擁壁の根元にコンクリートの立ち上がりがあるが、立ち上がりはないほうが良い。土系で盛り上がった上に擁壁が建っていると景観的に良くなる。
- ・ 駐車場の横の歩道について、歩道と駐車場の間に階段か何かを付けておいたほうが良い。
- ・ エントランスホールから、この空間が見えると良い。市民が日常の中で災害に関する情報などを身近に感じることが大事である。